

平成26年4月7日

プロジェクト報告書

団体名 NPO 真如苑のこねこねプロジェクト

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

子供英語民話創作教室

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

現在日本の子供の国際化教育は大きく転換を始めており、英語で授業をする小学校もでてきた。しかし、国際化は言語だけではなく、世界の多様な心を受け入れる心を育てる必要があり、そのために実際の交流の場が必要である。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

- 1時限目：趣旨の説明と子供の心(生データ)の書出しと発表。
- 2時限目：民話の読聞かせ。何が民話の基準になっているかの考察。心の英訳。
- 3,4時限目：民話作り(日本語)。班毎に分かれて日本語の話を作る。民話英訳。
- 5,6時限目：民話に影絵をつける。絵画の持つ情報伝達性を知る。
- 7,8時限目：民話の朗読。英語発声練習。英語指導。

子供達を書き出した心のデータの分析に当たって KJ 方を用いました。バリア、挑戦、

4. バリア乗越え、歓び、成長、進化という項目をつけると生命の知が生物を進化させる

「金の途」があることが解ります。また、バリアに挑戦しないでマネーなどで楽をして歓びを得る「途」もあります。しかし、成長を伴わず進化が無く、やがて衰えて消えていくので「銀の途」といえます。「銀の途」も生命の知の大切なプログラムで多くの生物を淘汰し、新しい生物を生み出しています。子供達が自分の心を創る基盤として「金の途」「銀の途」プロジェクトを普及することにします。

5. 人間社会にも協力して社会を進歩させる群の「金の途」「銀の途」があることが解ります。

この施策は、グローバル化する世界で異なる地域の人達と心の交流をする手段として有効なので、ユネスコの ESD 国際プログラムとして色々な国の子供と心のデータや創作民話を英語にして交換する活動を進めていきます。また、この仕事は地域の高齢者の仕事に適しているので多くの人に利用して欲しいと願っています。

真如苑の助成事業の防犯寸劇は 2007 年度内閣等後援の新しいまちづくり振興奨励賞

6. を東京都代表で受賞しましたが、この助成事業も地域の群の進化を目指す「金の途」

プログラムです。有難うございました。トヤマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

子供民話創作プロジェクト レッスンプラン

1 目的

子供に自分の心の世界をしっかりと捉え、それを言葉にして伝えることを学ばせる。国際語である英語も使う。

2 実施項目

(1) 心の内容を知る A

①現在自分の意識が捉えている心を書き出す。(1時限目・2クラス合同)

1月20日(月)3時限目(10時30分から)

講師がパソコンで書き出してラベルにする。講師宿題(1日)

②それを種類別に仕分ける。

子供が仕分ける。(2時限目)各クラス。

1月21日学校でやる 講師が英語に直してくる。

③心の種類と外から入る情報の関係を見る。紙に貼ってみる。

1月29日 5年2組が3時限目(10時30分から)

5年1組が4時限目(11時15分から)

英文を紹介する。英語の世界の話をする。

(2) 心の内容を知る B

①お話を作ってみる

昔の民話を読む (アフリカ・マザーテレサ)

自分の心の中にある世界をお話しにしてみる。各クラスで班毎に創る。

1月30日5年2組が3時限目10時30分から

5年1組が4時限目11時15分から

(四時限目から宿題)

②お話に絵をつける。

1月31日

お話を講師が英語にする。絵を組み合わせた冊子を作る講師の宿題。

(3) 心の内容を伝える

①お話しの内容をみんなの前で話してみる 英語の練習

2月7日 2月10日

一部を英語で話してみる。講師がカナで振り仮名をつけておく。

②発表会 2クラス合同

2月14日 5時限目(13時35分から) 6時限目(14時20分から)

(4) その他

子供の感想文を書いてもらう。教育プログラムに取り入れるため。

以上